

# 平成 26 年度事務事業評価調書

事業コード	03040302	区 分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常
事務事業名	図書室運営事業	担当部署名	教育課	
		作成責任者職氏名	課長 中野光二	内線 650
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)	
	03教育・歴史・伝統	04生涯学習の充実	03図書システムの充実	
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成5年度～ 年度)		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	—	義務付け <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

## I 事務事業の概要<Plan>

<p>(1)事務事業の目的及び内容</p> <p>①目的 読書機会の提供による村民の知性、感性を磨く一助を担う。</p> <p>②内容 貸出業務、図書購入、府立図書館・他市町図書館の図書貸出の取り次ぎ。</p>	<p>(2)対象(誰を対象とするのか) 村民・村内在勤者</p>
<p>(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか) 図書室利用者を増やし、読書の啓発に努めるなど村民の生涯学習の機会の充実が図れる。</p>	<p>(4)事務事業を進める上での課題や問題 時代の変化とともに個々に応じたサービスが求められており、特に高齢化社会になってきているため、施設を利用する公共機関の充実等が求められる。</p>

## II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	2,547	2,589	2,528	2,841	2,841			
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財	2	1	6	2	2		
一般財源	2,545	2,588	2,522	2,839	2,839			
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)	0.30	0.30	0.30	0.30			
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	1,664	1,767	1,767	1,767			
総コスト費(千円)(A+C)	4,211	4,356	4,295	4,608	4,608			
人口あたりコスト(円)	695	719	709	760	760			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	貸出し冊数	冊	17,000	12,166	72%	17,000	17,000
②	目標指標	貸出し人数	人	4,450	4,192	94%	5,200	5,200
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 166% / 2 = 83% (A)

### Ⅲ 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	生涯学習の充実により妥当である。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	ネット予約が可能となり利便性が向上したことにより効果がある。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	図書業務は非常勤対応のため効率性はよい。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	4 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	村民誰もがネット予約可能であり、公平性が保たれている。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	13	/16	81%	(B)
-------------------------	----	-----	-----	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
83%	81%	82%	b
<small>a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小)                      b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止)                      c: 50~69%(縮小又は見直し改善)</small>			

### Ⅳ 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
B	
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
村民の生涯学習の機会を与えるものであり、引き続き実施する。	

### Ⅴ 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
図書の機会の提供に必要な施設であり、引き続き実施することが必要であるとする。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
図書の機会の提供に必要な施設であり、引き続き実施することが必要であるとする。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止